

「北里大学東病院精神神経科病棟に入院となった摂食障害症例の 臨床的特徴の検討」の調査について

摂食障害である、神経性無食欲症の患者様は、低栄養状態に至る可能性があり、身体症状の悪化により生命に危険が及ぶこともあります。身体的な治療が必要でもありますが、体重が増えることに対する恐怖感や活動性の亢進などの精神症状を認めて、精神科を受診されることがあります。しかし本邦では、治療に取り組んでいる精神疾患治療施設が極めて少なく、治療に関しての資料も現在も他の精神疾患よりも少ないと考えられています。

北里大学東病院精神神経科は、これまで臨床における精神疾患患者様の治療および研究において、多くの実績をあげてきました。このたび、「北里大学東病院精神神経科病棟に入院となった摂食障害症例の臨床的特徴の調査について」を行うこととなりました。

この研究の目的は、今後の摂食障害患者さんの治療や医療の質の向上に役立たせることで、摂食障害患者様の背景や症状、入院期間を調査する予定です。

調査対象となるのは、2006年4月1日から2016年3月31日までに北里大学東病院精神神経科病棟に入院となった患者様で、摂食障害が医学的に疑われた患者様です。本調査はすべて既存のデータのみであり、データ上すべての患者様は匿名化され、お名前、ご住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありません。また、何らかの負担が生じることもありません。カルテから得られる受診に至った経緯や治療内容等を調査したデータは、北里大学東病院にて集計後、解析を行います。研究期間中は、研究責任者のもとで厳重に管理させていただきます。

また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌などで報告させていただきます。

このお知らせは2017年8月31日まで北里大学東病院院内に掲示します。本研究の調査対象の患者さまで調査への診療情報の提供に同意されない方は2017年8月31日までに研究責任者まで、お申し出いただくことも可能です。尚、この臨床研究への診療情報の提供を拒否されても診療には不利益はありません。

この件に関しまして、ご質問などがございましたら、下記研究責任者に遠慮なくお尋ね下さい。

研究責任者：北里大学医学部精神科医学講座
新井久稔（あらいひさとし）
電話：042-778-8285

